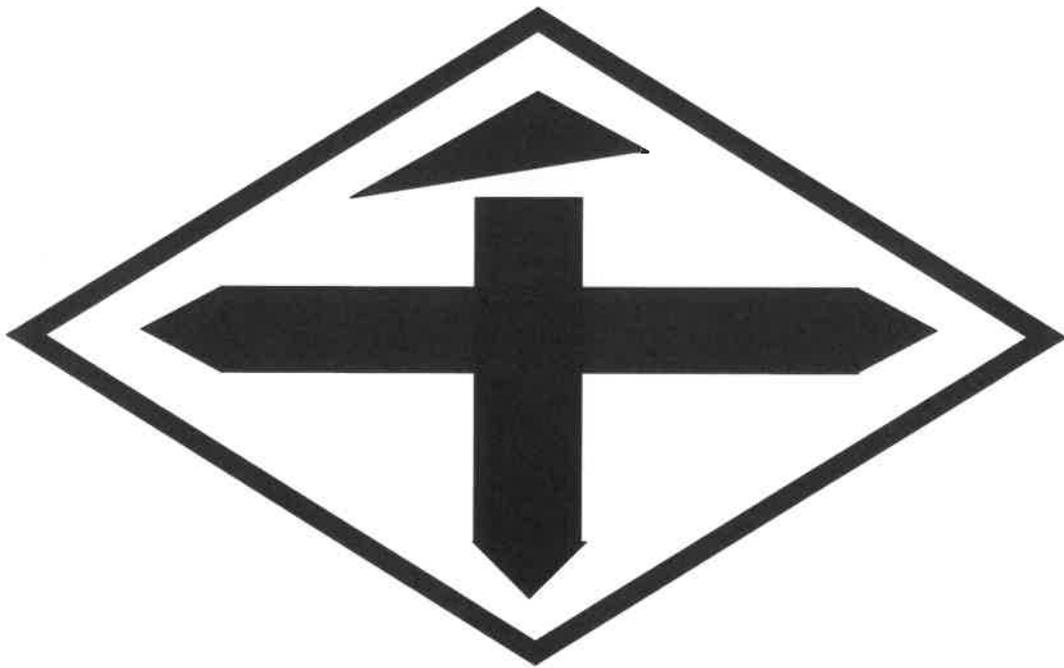


令和7年度

# 後期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

## 令和7年度 後期学校評価アンケートまとめ

## 1 各項目についての考察

## (1) つながり大切に、共に伸び合う学校

前期同様、児童、保護者共に、おおむね高評価となっている。多くの児童が学校生活は楽しいと回答しているので、よい傾向であると言える。保護者の回答もおおむね良好である。引き続き児童との温かい心のふれあいを大切にしながら、よりよい学校生活を過ごせるように努める。

## (2) 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）

「授業が楽しい」と思っている児童が多く、日々の授業での工夫、ICTの活用や児童相互の対話の場の設定などがよい結果につながっていると考える。得意なことを伸ばしていくとともに、苦手意識のある学習内容には、丁寧な個別指導や補充学習でしっかりカバーできるよう支援の継続に努める。読書については、学級担任による教室の読書環境づくりの工夫や移動図書館サルビア号の活用により、学校では読書を好む児童が非常に多い。しかし、家庭での読書習慣に関しては否定率が35%とかなり高くなっている。習慣化を図るためには、家庭での読書習慣の定着には保護者との連携やおすすめ図書の紹介など、更に工夫が必要である。家庭学習の習慣については、個人差が大きいようである。学校からの課題として出される宿題と自分で内容を選んで取り組む学習とのバランスが取れるよう、学習の仕方を具体的に示す必要がある。自ら好きな内容を選んで楽しんで取り組んだり、興味のあることをより深めたりできるような工夫をしていく。

## (3) 思考力・判断力・表現力の育成について（主体的・対話的で深い学び、授業改善）

自分の意見を書いたり、対話活動において意見を述べたり、友達の意見を聞いたりする活動を通して、主体的で対話的な学びができています。また、タブレット端末を日常的に活用する機会が増えたことにより、ICTに慣れ親しんできています。協働的な学びを実践や学習の個別最適化につながっていると考える。家庭学習についても、積極的にchromebookを活用している学年が多い。今後も、多様な課題の出し方を研究し、取り組んでいきたい。

## (4) 命を大切にする教育の推進（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育）

言葉遣いや他者に対する優しさや思いやりに関する項目では、児童、保護者共に評価が向上している。令和7年度の人権教育推進事業の指定を受けて、年間を通して人権教育に力を入れてきた成果だと考える。校訓「きまりよく」に関わる項目の評価も向上しており、時と場に応じた行動をすることや規範意識が定着しつつあると言える。ゲームやSNSの決まりに関する項目では、児童、保護者共に評価が向上している。校SNSとの付き合い方やルールについて再度学級で話し合ったり、学校だよりや学級通信を通して保護者への啓発を行ったりしたことが要因と考えられる。

## (5) 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進について

教職員の児童理解、児童との信頼関係など保護者の評価が向上している。否定的評価も2～4%存在することを心に留め、児童と教師との温かい関係性を築く努力をしつつ、今後も一人一人を見つめながら取り組んでいかなければならない。

## (6) 家庭との協力について（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）

よりよい挨拶を目指した学校の取組、家庭での児童のお手伝いの項目は、評価が向上している。挨拶に関しては、児童会による校内挨拶活動、学校運営協議会による通学路でのふれあい挨拶活動、PTAによる交通指導当番などを継続的に実施してきた。校内的には、外来者に対する挨拶やお礼の挨拶等を主体的に行うなど、目に見えて良くなってきている。しかし、運営協議会委員の評価では、朝のふれあい挨拶活動において、登校班によっては元気がない班もあるとのことである。校内だけではなく地域でも笑顔で元気な挨拶の輪を広げられるように引き続き取り組んでいきたい。

## 2 今後の目標と対策

### (1) 前期からの目標と成果

<前期からの目標>

後期学校評価アンケートでの評価数値目標

※ 児童 1.20 以上

※ 保護者 1.65 以上

【結果】

	R 6 後期	R 7 前期	R 7 後期	達成
児童	1.33	1.25	1.22	×
保護者	1.66	1.65	1.58	○

### (2) 対策

現在の取組の見直し・継続を基本とし、新たな取組を構築していく。特に児童、教師、保護者の評価において、他の項目に比べてポイントが低いものに力を入れていく。年度初めに、教職員間で課題をどう改善させていくか具体的な手立てについて協議し、学校運営協議会委員や保護者とも情報共有できるようにしておく。

<児童評価から>

- ① 家族の一員としての自覚（お手伝い）
- ② 地震等非常変災時の自己対応力
- ③ 一人一台端末の活用力

<保護者評価から>

- ① 家庭での学習習慣、読書習慣の定着
- ② 地震等非常変災時の家族のルール作り
- ③ 家庭での子供の役割

<教職員評価から>

- ① 児童が「分かる」「できる」を実感できる授業改善
- ② 正しく判断し、行動できる児童の育成
- ③ 最後まで粘り強くやり抜こうとする心を育む教育

## 令和7年度後期学校評価 教育計画に基づいた考察

マイナス評価減少 0.1以上向上

マイナス評価増加 0.1以上悪化

はい ← → いいえ

		1	2	3	4	計	平均	
1 つながり大切に、共に伸び合う学校								
児1	学校に行くのは、楽しい。	前期	81%	19%	0%	0%	67	1.19
		後期	82%	18%	0%	0%	68	1.18
保1	お子様は、楽しく学校に通っている。	前期	69%	29%	2%	0%	65	1.32
		後期	64%	36%	0%	0%	56	1.36
○ほとんどの児童が楽しいと回答しているので、よい傾向であると言える。 ○保護者の回答もおおむね良好である。								

2 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）								
児2	授業には、楽しく参加している。	前期	72%	27%	0%	1%	67	1.31
		後期	72%	28%	0%	0%	68	1.28
児3	授業は、分かりやすい。	前期	69%	31%	0%	0%	67	1.31
		後期	69%	30%	1%	0%	68	1.32
児19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	前期	81%	18%	1%	0%	67	1.21
		後期	78%	21%	1%	0%	68	1.24
※ 児23、児24、児25 児童アンケート結果2/2のグラフ参照								
保2	学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	前期	60%	37%	3%	0%	65	1.43
		後期	66%	34%	0%	0%	56	1.34
保16	お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいる。	前期	22%	41%	31%	6%	65	2.22
		後期	20%	45%	27%	8%	56	2.25
保17	お子様は、宿題や自主学習（予習・復習等）をする習慣を身に付けている。	前期	35%	53%	12%	0%	65	1.72
		後期	38%	49%	11%	2%	56	1.77
<p>○「授業が楽しい」と思っている児童が多く、日々の授業での工夫、ICTの活用や児童相互の対話の場の設定などがよい結果につながっていると考える。得意なことを伸ばしていくとともに、苦手意識のある学習内容には、丁寧な個別指導や補充学習でしっかりカバーできるよう支援の継続に努める。</p> <p>◇読書については、学級担任による教室の読書環境づくりの工夫や移動図書館サルビア号の活用により、学校では読書を好む児童が非常に多い。しかし、家庭での読書習慣に関しては否定率が35%とかなり高くなっている。習慣化を図るためには、家庭での読書習慣の定着には保護者との連携やおすすめ図書の紹介など、更に工夫が必要である。</p> <p>◇家庭学習の習慣については、個人差が大きいようである。学校からの課題として出される宿題と自分で内容を選んで取り組む学習とのバランスが取れるよう、学習の仕方を具体的に示す必要がある。自ら好きな内容を選んで楽しんで取り組んだり、興味のあることをより深めたりできるような工夫をしていきたい。</p>								

3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）								
児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	前期	64%	29%	7%	0%	86	1.43
		後期	68%	28%	4%	0%	68	1.37
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	前期	81%	17%	1%	0%	86	1.20
		後期	85%	15%	0%	0%	68	1.15
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	前期	71%	27%	2%	0%	86	1.31
		後期	71%	25%	4%	0%	68	1.34
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	前期	90%	10%	0%	0%	86	1.10
		後期	94%	6%	0%	0%	68	1.06
<p>◇自分の意見を書いたり、対話活動において意見を述べたり、友達の意見を聞いたりする活動を通して、主体的で対話的な学びができています。</p> <p>◇chromebookを日常的に活用する機会が増えたことにより、ICTに慣れ親しんできています。協働的な学びを実践や学習の個別最適化につながっていると考える。</p> <p>◇家庭学習についても、積極的にchromebookを活用している学年が多い。今後も、多様な課題の出し方を研究し、取り組んでいきたい。</p>								

4 命を大切にす教育の推進（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育）								
児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり遊んだりしている。	前期	73%	22%	5%	0%	67	1.31
		後期	79%	21%	0%	0%	68	1.21
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む）	前期	81%	16%	3%	0%	67	1.22
		後期	90%	10%	0%	0%	68	1.10
児11	学校のきまりが、守れている。	前期	79%	19%	2%	0%	67	1.22
		後期	90%	10%	0%	0%	68	1.10
児12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	前期	84%	16%	0%	0%	67	1.10
		後期	87%	13%	0%	0%	68	1.13
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	前期	88%	10%	2%	0%	67	1.13
		後期	87%	12%	1%	0%	68	1.15
児22	家の人がいなるときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話をしている。	前期	55%	23%	10%	12%	67	1.79
		後期	66%	27%	4%	3%	68	1.44
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	前期	87%	13%	0%	0%	67	1.13
		後期	97%	3%	0%	0%	68	1.03
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	前期	48%	49%	3%	0%	65	1.55
		後期	70%	30%	0%	0%	56	1.30
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	前期	62%	38%	0%	0%	65	1.38
		後期	63%	35%	2%	0%	56	1.39
保6	学校は、自分や他の人の命を大切にす教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	前期	55%	42%	3%	0%	65	1.45
		後期	59%	39%	2%	0%	56	1.43
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	前期	61%	37%	2%	0%	65	1.40
		後期	72%	28%	6%	0%	56	1.41

保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	前期	41%	57%	2%	0%	65	1.60
		後期	52%	48%	0%	0%	56	1.48
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	前期	27%	62%	6%	0%	65	1.65
		後期	37%	59%	0%	0%	56	1.59
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	前期	29%	46%	23%	2%	65	1.97
		後期	36%	53%	9%	2%	56	1.77
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。(避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	前期	25%	55%	18%	2%	65	1.97
		後期	23%	53%	20%	4%	56	2.04

○児9、児10、保4はいずれも評価が向上している。年間を通した人権教育の取組の効果と考える。特に道徳科や学級活動で、相手の気持ちになって考える学習を積み重ね、多様なふれあいを企図した様々な児童会イベントを行ったりしてきたことが、成果となりつつある。

○児11、保4共に、大幅に向上。校訓「きまりよく」に関わる、時と場に応じた行動をすることや規範意識が定着しつつあると言える。

○保護者11は、0.12ポイントの上昇である。引き続き、千丈っ子のよさや優しさを様々な形で紹介していくことに努める。

○保18については、0.2ポイント向上している。SNSとの付き合い方やルールについて再度学級で話し合ったり、学校だよりや学級通信を通して保護者への啓発を行ったりしたことが、影響の一つと考えられる。

5 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進								
児14	先生は、あなたのことを気にかけてくれている。	前期	90%	10%	0%	0%	67	1.10
		後期	87%	13%	0%	0%	68	1.13
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	前期	81%	15%	3%	1%	67	1.25
		後期	79%	19%	2%	0%	68	1.22
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	前期	82%	18%	0%	0%	67	1.22
		後期	81%	19%	0%	0%	68	1.19
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	前期	51%	44%	5%	0%	65	1.54
		後期	66%	32%	2%	0%	56	1.36
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	前期	49%	43%	8%	0%	65	1.58
		後期	57%	39%	4%	0%	56	1.46
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	前期	35%	62%	3%	0%	65	1.68
		後期	32%	61%	7%	0%	56	1.75

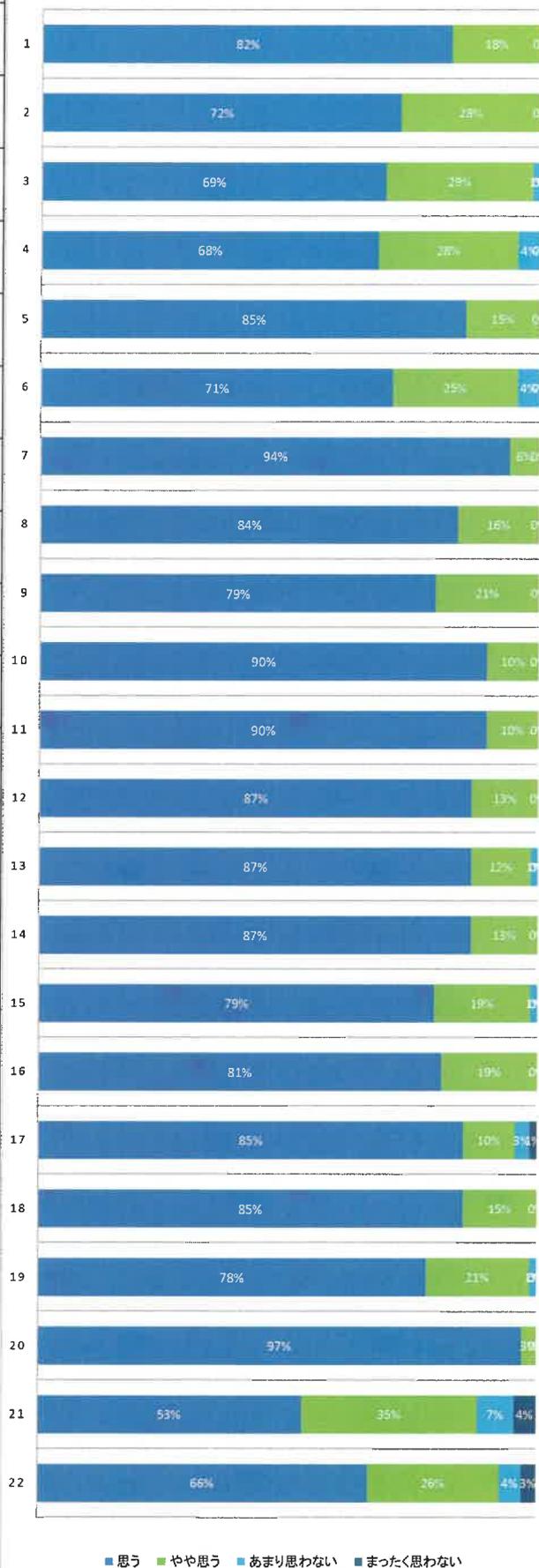
○保8、保9ともに、向上。しかし、否定的評価も2～4%存在することを心に留め、児童と教師との温かい関係性を築く努力をしつつ、今後も一人一人を見つめながら取り組んでいかなければならない。

●保10は、やや評価が下がっている。児童の頑張りが保護者に伝わるよう、学校での様々な取組を積極的に発信していく必要がある。

6 家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）								
児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	前期	81%	19%	0%	0%	67	1.19
		後期	84%	16%	0%	0%	68	1.16
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	85%	4%	10%	1%	67	1.30
		後期	85%	10%	3%	2%	68	1.21
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	前期	87%	12%	1%	0%	67	1.15
		後期	85%	15%	0%	0%	68	1.15
児21	家で、お手伝いをしている。	前期	60%	30%	7%	3%	67	1.54
		後期	54%	35%	7%	4%	68	1.63
保3	学校はあいさつ運動の充実に努めている。	前期	59%	38%	3%	0%	65	1.45
		後期	70%	30%	0%	0%	56	1.30
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	60%	37%	3%	0%	65	1.43
		後期	57%	39%	4%	0%	56	1.46
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	前期	26%	69%	5%	0%	65	1.78
		後期	36%	59%	5%	0%	56	1.70
保15	お子様は、家で手伝いをしている	前期	21%	61%	23%	5%	65	2.15
		後期	36%	46%	18%	0%	56	1.82
<p>○保3は0.15ポイント向上。児童会による校内挨拶活動、学校運営協議会による通学路でのふれあい挨拶活動、PTAによる交通指導当番などを継続的に実施してきた。校内的には、外来者に対する挨拶やお礼の挨拶等を主体的に行うなど、目に見えて良くなってきている。しかし、運営協議会委員の評価では、朝のふれあい挨拶活動において、登校班によっては元気がない班もあるとのことである。校内だけではなく地域でも笑顔で元気な挨拶の輪を広げられるように引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>○児21では、家庭でのお手伝いのポイントが若干下がっているが、保15では、0.33も向上している。理由は定かではないが、児童に家庭でのお手伝いについて聞き取りを行い、頑張っていることを紹介するなどし、意欲が継続するように工夫していく。</p>								

令和7年度(後期)児童アンケート(1/2)		(68/68名) 回答率100%					平均
		1	2	3	4	計	
1	学校に行くのは、楽しい。	56	12	0	0	68	1.18
2	授業には、楽しく参加している。	49	19	0	0	68	1.28
3	授業は、分かりやすい。	47	20	1	0	68	1.32
4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	46	19	3	0	68	1.37
5	授業では、学級の友達と話し合う活動(ペア・グループ)をよくしている。	58	10	0	0	68	1.15
6	授業では、chromebook(クロムブック)をよく使っている。	48	17	3	0	68	1.34
7	chromebook(クロムブック)の使い方は分かる。(教えてもらった場合も含む)	64	4	0	0	68	1.06
8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	57	11	0	0	68	1.16
9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	54	14	0	0	68	1.21
10	友達に優しく接している。(同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む)	61	7	0	0	68	1.10
11	学校のきまりは守れている。	61	7	0	0	68	1.10
12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	59	9	0	0	68	1.13
13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	59	8	1	0	68	1.15
14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	59	9	0	0	68	1.13
15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	54	13	1	0	68	1.22
16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	55	13	0	0	68	1.19
17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	58	7	2	1	68	1.21
18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	58	10	0	0	68	1.15
19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	53	14	1	0	68	1.24
20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	66	2	0	0	68	1.03
21	家で、お手伝いをしている。	36	24	5	3	68	1.63
22	家の人がいないうちに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	45	18	3	2	68	1.44

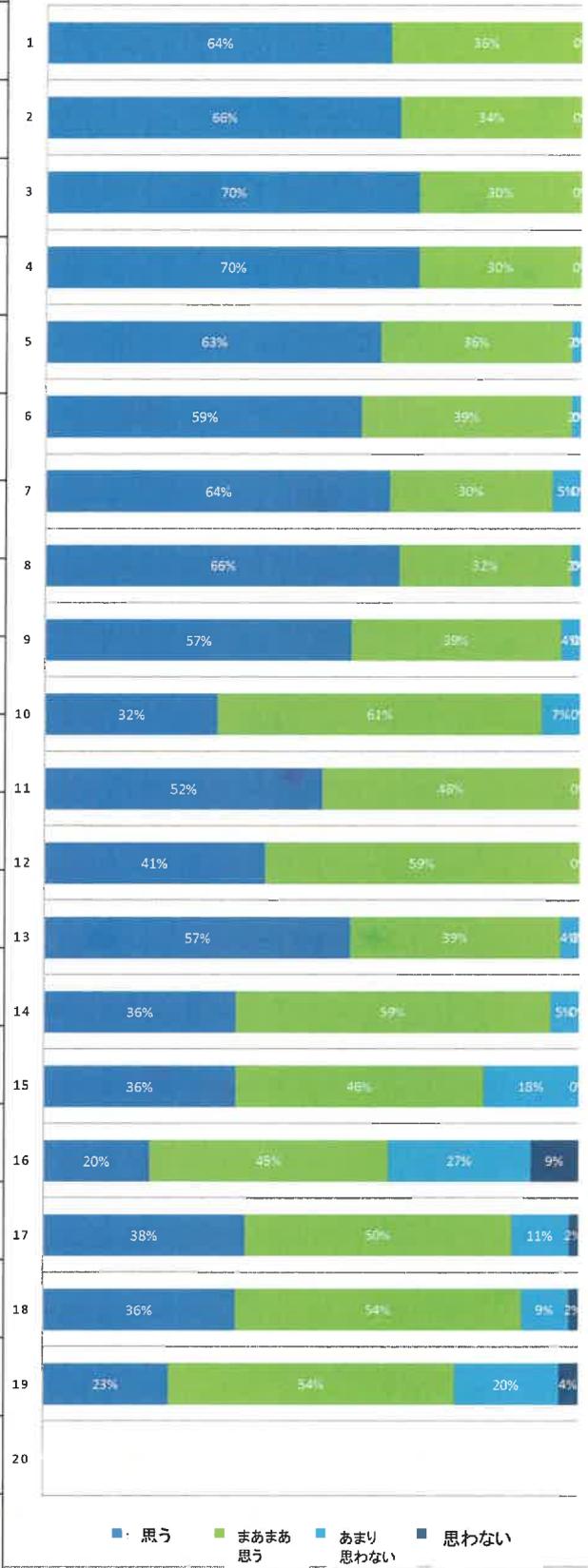
児童アンケートグラフ(1~22)



令和7年度(後期)児童アンケート(2/2)		3時間をこえる	3時間くらい	2時間くらい	1時間くらい	15分から30分くらい	まったくしない	計
23	平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	0	1	4	38	25	0	68
24	休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	0	2	7	27	31	1	68
		<p>■ 3時間以上 ■ 2時間～3時間 ■ 1時間～2時間 ■ 30分～1時間 ■ 30分以内 ■ まったくしない</p>						
		1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない	計		
25	読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	2	35	31	0	68		
		<p>■ 1時間以上 ■ 30分～1時間 ■ 30分以内 ■ まったく読まない</p>						

令和7年度(後期)保護者アンケート(1/2)		(56/68名) 回答率97%				計	平均
		1	2	3	4		
1	1. お子様は、楽しく学校に通っている。	36	20	0	0	56	1.36
2	2. 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	37	19	0	0	56	1.34
3	3. 学校は、あいさつ運動の充実に努めている。	39	17	0	0	56	1.30
4	4. 学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	39	17	0	0	56	1.30
5	5. 学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	35	20	1	0	56	1.39
6	6. 学校は、自分や他の人の命を大切にす教育(心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)の推進に努めている。	33	22	1	0	56	1.43
7	7. 学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	36	17	3	0	56	1.41
8	8. 教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	37	18	1	0	56	1.36
9	9. お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	32	22	2	0	56	1.46
10	10. お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	18	34	4	0	56	1.75
11	11. お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	29	27	0	0	56	1.48
12	12. お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	23	33	0	0	56	1.59
13	13. お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	32	22	2	0	56	1.46
14	14. お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	20	33	3	0	56	1.70
15	15. お子様は、家で手伝いをしている	20	26	10	0	56	1.82
16	16. お子様は、読書の日(月曜日)には、本を読んでいる。	11	25	15	5	56	2.25
17	17. お子様は、宿題や自主学習(予習・復習等)をする習慣を身に付けている。	21	28	6	1	56	1.77
18	18. お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	20	30	5	1	56	1.77
19	19. 地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。(避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	13	30	11	2	56	2.04

保護者アンケートグラフ(1~19)



学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。

★学校からの回答

◇『友達をさん、君をつけて呼ぼう』というめあてについてですが、今まで『ちゃん』づけで呼び合っていたのに急にさん付けて呼び始めて、とても違和感があったし、距離を感じました。呼び捨てはやめよう、とかなら分かるのですが、男子は君のままなのに、女子だけさん付けというのが疑問です。

↓↓↓↓↓

★平成八年三月に当時の千丈小学校児童会が中心となって作った「千丈っ子にこにこ宣言」の一つが、「友達は、さん、くんを付けて呼びます」という一文です。今年度、相手を大切にする第一歩として、児童からの発案で「もう一度みんなで見直してみましよう」とのお試しの取組でした。決して教師から押し付けたわけではありません。教職員の中には、男女関係なく全ての児童を「さん」付けて呼ぶ者もいますが、これはジェンダーフリーの観点から、ずっとそう呼んでいるそうです。にこにこ宣言の目的は相手を尊重する態度を養うことですから、子どもたちが違和感や距離感、ごちなさを感じるようであれば、また子どもたち同士で話し合うことを考えていきます。もちろん、「ちゃん」と「さん」を使い分けるのであれば、どんな理由で使い分けるのか、どのような線引きをするのかについても考えなければなりませんね。ご意見をいただきありがとうございます。

◇いつもありがとうございます。

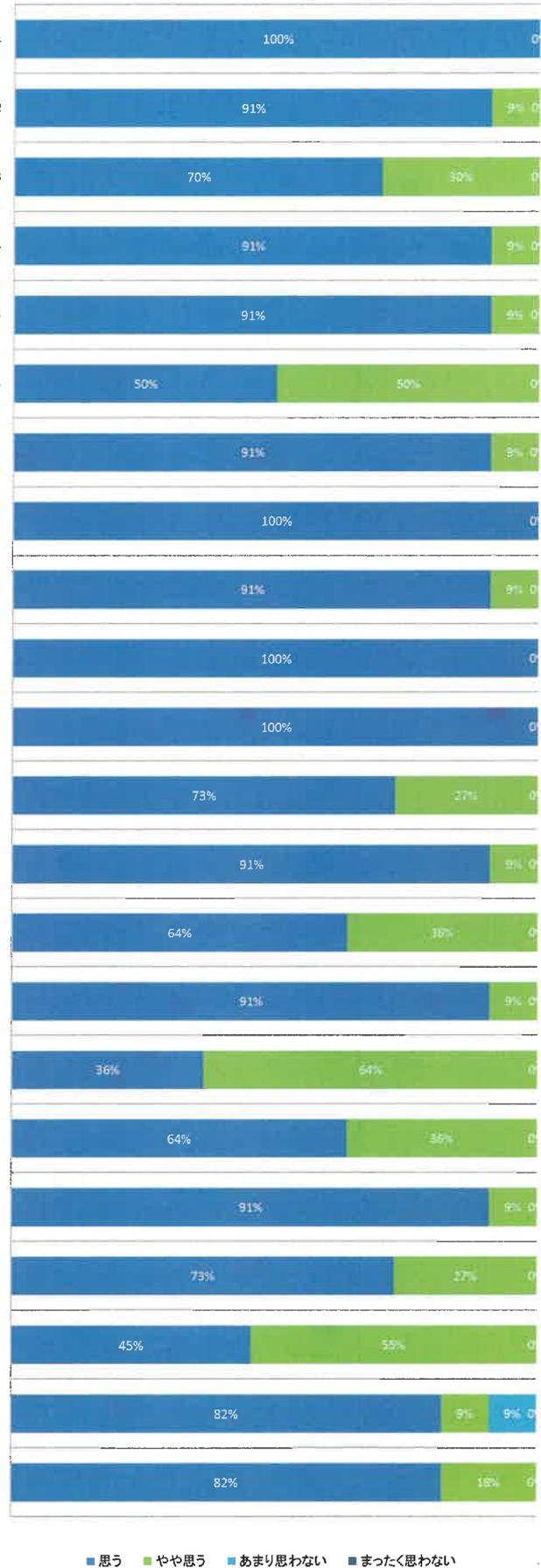
勘違いかもしれませんが、男女によって態度が変わる先生がいると聞きました。子どもたちの態度がいけないときもあるとは思いますが、少なからず子どもなりに何か感じているのだと思うので、分け隔てなく接して頂けたら嬉しいです。

↓↓↓↓↓

★教職員にそのつもりがなくても、子どもさんがそのように感じたのであれば態度を改めなければなりません。改めて教職員間で研修を行い、同じような思いをすることのないよう努めます。ご意見をいただきありがとうございます。

令和7年度(後期)教職員アンケート		(11人/11人) 100%				
		1	2	3	4	計
1	1. 学校の教育目標【「つよく、やさしく、きまりよく生きる」千丈の子を育てる】の達成に向けて、指導や支援に努めたか。	11	0	0	0	11
2	2. 学習指導において、基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。	10	1	0	0	11
3	3. 分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めたか。	7	3	0	0	10
4	4. つながり、伝え合い、心豊かに生きる児童の育成(研究主題)に努めたか。	10	1	0	0	11
5	5. 教育活動中でのICT機器の効果的な活用に努めたか。	10	1	0	0	11
6	6. 命を大切に教育の推進(心の教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)に努めたか。	11	11	0	0	22
7	7. 教師自身が明るくさわやかな挨拶や返事することを心掛けるとともに、児童への挨拶や返事の指導に努めたか。	10	1	0	0	11
8	8. 児童の間違った行動に対して、毅然とした態度で指導するように努めたか。	11	0	0	0	11
9	9. 人権・同和教育の充実・改善に努め、児童が豊かな心をもてるよう、指導や支援に努めたか。	10	1	0	0	11
10	10. 児童の自尊感情を高めるために、一人一人を大切に指導や支援に努めたか。	11	0	0	0	11
11	11. 生徒指導上の問題(いじめ、非行、不登校等)の未然防止に向けた指導や支援に努めたか。	11	0	0	0	11
12	12. 安全な学校環境作りに努めたか。	8	3	0	0	11
13	13. 危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めたか。(新型コロナや熱中症の対応も含む)	10	1	0	0	11
14	14. 児童は、「めあてに向かって粘り強くがんばる子」に育っている。	7	4	0	0	11
15	15. 児童は、「明るく思いやりのある子」に育っている。	10	1	0	0	11
16	16. 児童は、「正しく判断し行動できる子」に育っている。	4	7	0	0	11
17	17. 家庭と連携し、児童の学力向上や基本的な生活習慣の育成に努めたか。	7	4	0	0	11
18	18. 家庭と連携し、生徒指導上の問題についての早期対応に努めたか。	10	1	0	0	11
19	19. 家庭・地域と連携をとり、信頼される学校作りに努めたか。	8	3	0	0	11
20	20. ワークライフバランスを考え、家庭と仕事の両立に努めたか。	5	6	0	0	11
21	21. 働き方改革の意識をもち、業務改善、負担軽減となるよう努めたか。	9	1	1	0	11
22	22. 公文書や表簿類の適切な保管や正確かつ迅速な事務処理に努めたか。	9	2	0	0	11

教職員アンケートグラフ(1~22)



教育計画に基づいた番号	
	学校目標・校訓 (1 14 15 16)
	学習指導 (2 3 4 5)
	心の教育 (6 9 10)
	生徒指導 (7 8 11)
	安全・安心 (12 13)
	家庭との連携 (17 18 19)
	働き方改革 (20 21)
	事務管理 (22)
	<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの項目においても、肯定的な回答となっている、落ち着いて教育活動を進めることができていると言える。</li> <li>・校訓のめざす子ども像に関して、「めあてに向かって粘り強く頑張る子」「正しく判断し行動できる子」は、否定的な回答はないものの、他の項目に比べるとポイントが低めである。改めて児童のよいところと課題について教職員間で共有し、具体的にどのような取組をしていくかを話し合い、来年度に備える。</li> <li>・家庭や地域との連携に更に力を注ぎ、教職員全員、PTA、学校運営協議会、関係諸機関と情報を共有し、組織体制でよりよい方法を考え、実践に移していくことを心掛ける。</li> <li>・ワークライフバランスや働き方改革については、否定的な回答もゼロではない。複数の校務分掌を担当するなど負担に感じる原因はいくつか考えられる。再度業務の精選や活動内容の改善等を行い、負担感の軽減を図ることで気持ちにゆとりを持って児童と接することができるようにしていく。</li> <li>・教職員同士の対話を大切にし、それぞれの立場を理解しつつ、引き続きフォローし合っていく。教職員自身の健康や家庭を大切にし、心身ともにより健全な状態で、職務の遂行に努める。</li> </ul>